

製品名: インスリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12638**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	INS
別名	INS; Insulin
遺伝子 ID	3630.0
SwissProt ID	P01308
免疫原	抗血清はヒトインスリン由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 49-98

背景

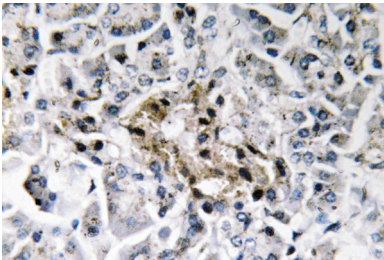
プロインスリンは、前駆体シグナルペプチドが除去された後、翻訳後 3 つのペプチドに切断されます。B 鎖ペプチドと A 鎖ペプチドは 2 つのジスルフィド結合を介して共有結合し、インスリンと C ペプチドを形成します。インスリンがインスリン受容体 (INSR) に

結合すると、グルコースの取り込みが促進されます。表現型に影響を与える多数の変異対立遺伝子が同定されています。リードスルー遺伝子である INS-IGF2 は、この遺伝子の 5'領域と、IGF2 遺伝子の 3'領域と重複しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010 年 6 月]、疾患: INS の欠陥は、家族性高プロインスリン血症の原因です [MIM:176730]。機能: インスリンは血糖濃度を低下させます。単糖、アミノ酸、脂肪酸に対する細胞透過性を高めます。肝臓における解糖系、ペントースリン酸回路、およびグリコーゲン合成を促進する。機能: プレプロチンはグルコースを介したインスリンとの共分泌を受け、グルコースを介したインスリン分泌の生理学的増幅因子として作用する。MAPK1 および MAPK3 のリン酸化活性化を介して骨芽細胞のミトジェン活性を増強することにより、骨形成特性を示す。機能: インスリン様成長因子は増殖促進活性を有する。in vitro において、培養細胞に対して強力なミトジェン活性を示す。IGF-II は胎盤性ラクトゲンの影響を受け、胎児発育に関与している可能性がある。質量分析: PubMed:12586351; PubMed:15359740、オンライン情報:イーライリリー社のインスリン製品に関する臨床情報、オンライン情報:インスリンの項目、オンライン情報:インスリン様成長因子 2 の項目、オンライン情報:『20 世紀のタンパク質 - 2001 年 4 月第 9 号』、医薬品:イーライリリー社ではヒューマリンまたはヒューマログ、ノボリン社ではノボリンという名称で販売されています。糖尿病の治療に用いられます。ヒューマログは、52-プロリン-リジン-53 の代わりに 52-プロリン-リジン-53 を持つインスリンアナログです。類似性:インスリンファミリーに属します。サブユニット:2つのジスルフィド結合で連結された B 鎖と A 鎖のヘテロ二量体。

研究分野

卵母細胞減数分裂、オートファジーの調節、mTOR、アクチンと細胞骨格の調節、インスリン受容体、プロゲステロンを介した卵母細胞成熟、II 型糖尿病、I 型糖尿病、若年成人型糖尿病、アルドステロンを介したナトリウム再吸収、前立腺がん。

画像データ



パラフィン包埋ヒト膵臓組織におけるインスリン抗体の免疫組織化学分析。